

溶接管理技術者のための研修会用 テキスト申込み要領〔特別級・1級・2級受験〕

特別級用・1級用 ※2025年度までのテキスト「溶接・接合技術総論」は使用できません。
必ず、本テキスト(新版)をご用意願います。

【新版】溶接・接合技術総論(初版第1刷) 定価9,900円(税10%込)

2級用

【新版改訂】

溶接・接合技術入門(第5版第1刷) 定価4,125円(税10%込)

※ 正誤表に関しましては、弊社ホームページ <https://www.sanpo-pub.co.jp/news/post.html> でご確認願います。

【特別級・1級】筆記試験問題と解答例2026年版実題集 定価2,640円(税10%込)

【2級】筆記試験問題と解答例2026年版実題集 定価2,200円(税10%込)

※ 定価・消費税などは変更する場合がございますので、ご了承ください。

申込先① 産報出版株式会社 販売部

法人：銀行振込・郵便振替・現金書留・産報出版ホームページでのご購入が可能です。

※ 銀行振込・郵便振替での申込書の場合、FAX(03-3258-6430)でお申し込みください。

確認後、書籍に請求書を同封してお送りいたします。

個人：現金書留・産報出版ホームページでのご購入が可能です。

※ 現金書留での申込書の場合、必要事項を記入の上、書籍代金と送料(一律700円)を添えてにてお申し込みください。

確認後、書籍に領収書を同封してお送りいたします。1万5,000円以上は送料無料。

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町1-11 (TEL03-3258-6411 FAX03-3258-6430)

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中3-6-8(5階) (TEL06-6633-0720 FAX06-6633-0840)

ホームページ <https://www.sanpo-pub.co.jp/books/001/>

申込先② 一般社団法人日本溶接協会指定機関(裏面にテキストを取り扱う指定機関の一覧を掲載)

※ お申込み方法は、お近くの日本溶接協会テキスト取扱い指定機関へお問い合わせください。

申込書

当研修会事務局の日本溶接協会本部ではテキストの取扱いは致しておりません。

特別級用・1級用

新版 溶接・接合技術総論

冊／ 定価9,900円(税10%込)

2級用

新版改訂 溶接・接合技術入門

冊／ 定価4,125円(税10%込)

【特別級・1級】筆記試験問題と解答例2026年版実題集

冊／ 定価2,640円(税10%込)

【2級】筆記試験問題と解答例2026年版実題集

冊／ 定価2,200円(税10%込)

● 配送先(会社・自宅)どちらかにチェック

会社名

氏 名

住 所(〒)

TEL

書籍代

円(税込)

送 料 700円(沖縄県1,100円)

※ 1万5,000円以上は送料無料

円(税込)

合 計

円(税込)

年 月 日

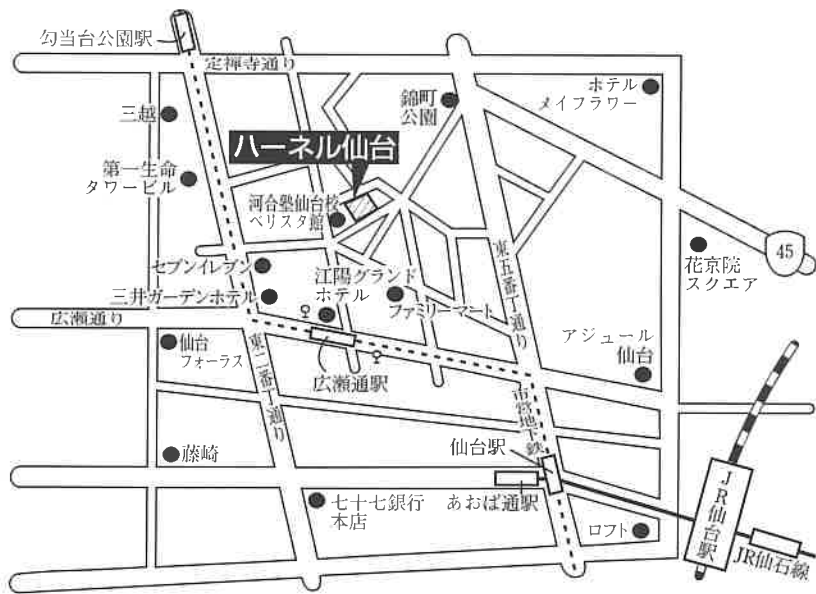
当研修会事務局の日本溶接協会本部ではテキストの取扱いは致しておりません。

テキスト取扱い機関一覧表

札幌溶接協会	〒003-0806	札幌市白石区菊水6条3丁目1-32(北海道溶接技術センター内)	Tel.011-832-8280
函館溶接協会	〒040-0076	函館市浅野町4-8(函館工業会館内)	Tel.0138-45-0717
室蘭溶接協会	〒050-0087	室蘭市仲町12 日鉄テックスエンジニア(株)東館2F	Tel.0143-59-3895
帯広溶接協会	〒080-8711	帯広市西3条南9丁目23(帯広商工会議所内)	Tel.0155-67-7344
旭川溶接協会	〒078-8273	旭川市工業団地3条2丁目1-18(旭川工業技術センター内)	Tel.0166-36-4153
北見溶接協会	〒090-0836	北見市東三輪5-1-4(北見市工業技術センター内)	Tel.0157-66-2141
苫小牧溶接協会	〒053-0052	苫小牧市新開町3-9-4(渡部工業(株)内)	Tel.0144-57-7587
一般社団法人 青森県溶接協会	〒030-0921	青森市原別5-11-55	Tel.017-736-9055
一般社団法人 岩手県溶接協会	〒020-0022	盛岡市大通3-2-8(岩手県金属工業会館4F)	Tel.019-652-3921
一般社団法人 宮城県溶接協会	〒980-0811	仙台市青葉区一番町1-14-23(美和ビル3F)	Tel.022-263-3468
一般社団法人 秋田県溶接協会	〒010-0941	秋田市川尻町字大川反170-44	Tel.018-862-5410
一般社団法人 山形県溶接協会	〒990-0828	山形市双葉町2-11-14	Tel.023-644-0857
一般社団法人 福島県溶接協会	〒960-8042	福島市荒町4-33(穴戸ビル2F)	Tel.024-523-1622
一般社団法人 茨城県溶接協会	〒312-0005	ひたちなか市新光町38(株)ひたちなかテクノセンター内)	Tel.029-212-4650
一般社団法人 栃木県溶接協会	〒321-0923	宇都宮市下栗町699-7	Tel.028-656-9210
一般社団法人 群馬県溶接協会	〒371-0017	前橋市日吉町1-8-1(前橋商工会議所内)	Tel.027-230-1020
一般社団法人 埼玉県溶接協会	〒350-0011	川越市久下戸3081-1(埼玉県鉄構会館1F)	Tel.049-236-9151
一般社団法人 千葉県溶接協会	〒260-0024	千葉市中央区中央港1-13-1(千葉県ガス石油会館)	Tel.043-246-5712
一般社団法人 東京都溶接協会	〒136-0072	江東区大島3-1-11(産学協同センター2F)	Tel.03-3685-5448
一般社団法人 首都圏溶接協会東京	〒144-0052	大田区蒲田5-32-6(サワダビル202)	Tel.03-3733-4971
一般社団法人 神奈川県溶接協会	〒210-0001	川崎市川崎区本町2-11-19((一財)日本溶接技術センター内)	Tel.044-233-8367
一般社団法人 新潟県溶接協会	〒950-0041	新潟市東区臨港町3-4609-11	Tel.025-272-7311
一般社団法人 山梨県鉄構溶接協会	〒400-0055	甲府市大津町317-2(山梨県鉄構会館内)	Tel.055-241-2674
一般社団法人 富山県溶接協会	〒933-0981	高岡市二上町150(富山県産業技術研究開発センター内)	Tel.0766-25-7912
一般社団法人 石川県溶接協会	〒923-0804	小松市光町25(小松鉄工機器協同組合研修センター3階)	Tel.0761-46-5020
一般社団法人 福井県溶接協会	〒910-0831	福井市若栄町508(福井県鉄工会館1階)	Tel.0776-53-5261
一般社団法人 岐阜県溶接協会	〒504-0814	各務原市蘇原興亜町1-17-1(川協研修センター内)	Tel.0583-83-9382
静岡県溶接工業協同組合	〒424-0847	静岡市清水区大坪1-5-17	Tel.054-347-3070
一般社団法人 愛知県溶接協会	〒456-0058	名古屋市熱田区六番3-4-41(名古屋市工業研究所内)	Tel.052-651-6084
一般社団法人 三重県溶接協会	〒514-0302	津市雲出伊倉津町1187(JFE長浜ビル)	Tel.059-235-3185
滋賀県溶接協会	〒520-0865	大津市南郷5-2-14(滋賀県事業内職業訓練センター内)	Tel.077-534-1140
一般社団法人 京都府溶接協会	〒615-0022	京都市右京区西院平町25(ライフプラザ西大路四条1F)	Tel.075-322-8401
一般社団法人 大阪府溶接技術協会	〒556-0016	大阪市浪速区元町2-8-9(難波ビル)	Tel.06-6649-1405
奈良県溶接協会	〒630-8031	奈良市柏木町129-1(奈良県産業振興総合センター内)	Tel.0742-33-6222
和歌山県溶接協会	〒649-6264	和歌山市新庄99	Tel.073-477-4964
鳥取県溶接協会	〒683-0845	米子市旗ヶ崎2201(山陰酸素工業(株)内)	Tel.0859-32-7112
島根県溶接協会	〒690-8567	松江市矢田町250-219	Tel.0852-24-2157
一般社団法人 岡山県溶接協会	〒700-0011	岡山市北区学南町1-4-3	Tel.086-250-6530
一般社団法人 広島県溶接協会	〒737-0811	呉市西中央3丁目9-6(上本ビル2F)	Tel.0823-21-3331
一般社団法人 山口県溶接協会	〒744-0002	下松市大字東豊井1547-2(国居ビル2F)	Tel.0833-43-3450
徳島県溶接協会	〒770-8021	徳島市雑賀町西開11-2(徳島県立工業技術センター内)	Tel.088-669-4637
一般社団法人 香川県溶接協会	〒761-0101	高松市春日町296番地3(株)カワニシ本社工場内)	Tel.087-813-2888
一般社団法人 愛媛県溶接協会	〒792-0003	新居浜市新田町3-2-27(新居浜ビル1F)	Tel.0897-66-8235
一般社団法人 高知県溶接協会	〒781-0814	高知市稲荷町10-9(高知溶材(株)内)	Tel.088-855-3512
一般社団法人 福岡県溶接協会	〒807-0831	北九州市八幡西区則松3-6-1(福岡県工業技術センター内)	Tel.093-602-7751
一般社団法人 佐賀県溶接協会	〒849-0932	佐賀市鍋島町八戸溝161-10	Tel.0952-31-3554
一般社団法人 長崎県溶接協会	〒856-0026	大村市池田2丁目1303-8(長崎県工業技術センター内)	Tel.0957-52-1146
一般社団法人 熊本県溶接協会	〒862-0901	熊本市東区東町3-11-38(熊本県産業技術センター内)	Tel.096-369-5519
一般社団法人 大分県溶接協会	〒870-1117	大分市高江西1-4361-10(大分県産業科学技術センター内)	Tel.097-596-7010
一般社団法人 宮崎県溶接協会	〒880-0303	宮崎市佐土原町東上那珂16500-2(宮崎県工業技術センター内)	Tel.0985-74-0990
一般社団法人 鹿児島県溶接協会	〒890-0073	鹿児島市宇宿2-9-3	Tel.099-251-5518
一般社団法人 沖縄県溶接協会	〒904-2234	うるま市字州崎12-2(沖縄県工業技術センター内)	Tel.098-934-9565

仙台会場（ハーネル仙台）

仙台市青葉区本町2-12-7 TEL 022-222-1121



【交通のご案内】

- JR「仙台駅」(西口)より徒歩12分
- 市営地下鉄南北線「広瀬通駅」(西1番出口)より徒歩3分、
「勾当台公園駅」(南4番出口)より徒歩5分

東京会場（TKP新橋汐留カンファレンスセンター）

港区東新橋1-1-16 汐留FSビル TEL 03-5568-7013



【交通のご案内】

- ゆりかもめ線「新橋駅」(1C出口)より徒歩1分
- JR線「新橋駅」(南改札汐留口)より徒歩3分
- 東京メトロ銀座線「新橋駅」(4出口)より徒歩4分

名古屋会場（TKP名古屋駅前カンファレンスセンター）

名古屋市中村区名駅2丁目4-1-5 CK20名駅ビル5～6階、8階 TEL 052-569-5020

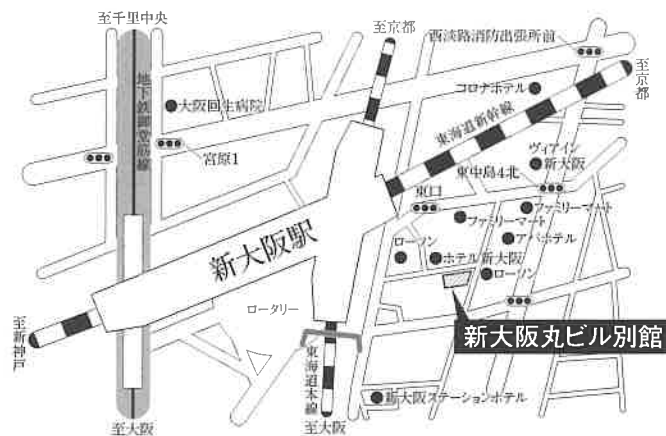


【交通のご案内】

- JR、近鉄、名鉄「名古屋駅」(桜通口)より徒歩7分
- 地下鉄桜通線、東山線「名古屋駅」(地下鉄1番出口)より徒歩3分

大阪会場①（新大阪丸ビル別館）

大阪市東淀川区東中島1-18-22 TEL 06-6325-1302



【交通のご案内】

- JR「新大阪」駅東口より徒歩2分
- 地下鉄御堂筋線新大阪駅⑤、⑧番出口より徒歩8分

大阪会場②（TKPガーデンシティPREMIUM大阪梅田新道）

大阪市北区曽根崎2-3-5 梅新第一生命ビルディング TEL 06-4792-7518



【交通のご案内】

- 大阪メトロ谷町線「東梅田駅」4番出口より徒歩5分
- JR東西線「北新地駅」11-44出口より徒歩5分
- 大阪メトロ御堂筋線「梅田駅」15番出口より徒歩5分

福岡会場（南近代ビル）

福岡市博多区博多駅南4-2-10 TEL 092-431-4343



【交通のご案内】

- 西鉄バス…博多駅から5分
博多口交通センター13番のりば（17、40、44、45、114、202、203番）
「山王公園前」下車

2026年度後期 溶接管理技術者 評価試験概要

一般社団法人 日本溶接協会 溶接管理技術者認証委員会・評価委員会

1. 受験条件

申請時に下表に示す学歴又は認証に該当する必要職務経験年数を満たすこと

学 歴 又 は 認 証	等級別の必要職務経験年数		
	特別級	1級	2級
① 理工系大学院修了者および理工系大学卒業者	3 (1)	2 (1)	1
② 理工系以外の大学院修了者および大学卒業者	6	4	2
③ 理工系短期大学および工業高等専門学校卒業者	6 (5)	4 (3)	1
④ 理工系各種専門学校および工業高等学校卒業者	—	7	2
⑤ 工業高等学校以外の高等学校卒業者	—	8	4
⑥ 上記学歴によらない場合	—	—	7
⑦ 1級認証者	3	—	—
⑧ 2級認証者	—	3	—

注記1 表中の経験年数は、最小限の必要年数を表す。

注記2 () 内の数字は溶接専修と見なされる学校に適用する。

注記3 経験年数は、溶接技術に関連した職務に専従した期間とし、専従でない場合は職務の実態に応じて査定する。

注記4 経験年数は、学歴については修了及び卒業後、認証については認証取得後の年数とする。

注記5 ①の理工系大学卒業者は、工業高等専門学校専攻科卒業者を含む。

注記6 ④の理工系各種専門学校卒業者は、高等学校卒業以上の学歴を有している場合に認められる。

補足 ⑤の工業高等学校以外の高等学校卒業者には、理工系以外の短期大学および理工系以外の専門学校卒業ならびに高等学校卒業程度認定試験合格者を含む。

- ただし、申請時に上表を満たさない未達の状態（以下、「未達」という。）であっても、筆記試験を受験することができます。「未達」で筆記試験に合格した場合は5年以内に上表の必要職務経験年数を満足させ、口述試験を受ける必要があります。
- ⑦⑧の各認証者につきましては、対象資格の初回認証後 有効保有期間を3年以上有する方が該当です。
- 注記2の溶接専修とみなされる学校の一覧は「WES8103:2019（溶接管理技術者認証基準）」の『解説』に記載があります。日本溶接協会ホームページ（<https://www.jwes.or.jp>）から閲覧可能です。

2. 評価試験予定日

(1) 筆記試験（一次試験）

試 験 日（予定）	2026年11月8日（日）
実施地区（予定）	仙台、東京、名古屋、大阪、福岡

(2) 口述試験（二次試験）

試 験 日（予定）	2026年12月5日（土）
実施地区（予定）	原則として東京、大阪

- 有効な修了証（交付から2年以内）を保有されている方は、口述試験が原則、免除となります。
※研修会の修了書が交付されても、口述試験が免除とならない場合があります。
また、特別級では口述試験の免除はありません。
- 1級の研修会を修了された方が2級の評価試験を受験する場合も、口述試験は免除になります。

3. 受験申請

(1) 申請方法

- ・WEB申請のみです。紙では受付けていません。また、事務局による代行申請は対応していません。
- ・WEB申請はe-Weld（溶接管理技術者専用）を利用してください。マイページを作成されていない方は、本人管理マイページまたは勤務先管理マイページを事前に作成する必要があります。

e-Weldの案内は、下記URLを確認してください。

(URL) <https://www.jwes.or.jp/e-weld/we/>

(2) 申請期間

- ・評価試験の申請期間は次のとおりです。

2026年8月24日～2026年10月1日《申請期限厳守》

- ・2026年10月1日 23:59までの期間内に、全ての申請を完了する必要があります。一時保存状態や画面操作中に期限を超えた場合、一切受け付けることはできません。

(3) 申請までに用意するもの

- ・受験条件①から⑤により申請する方は、最終学歴を証明する「卒業証明書」「卒業証書」「学位記」を早めに用意してください。申請期間最終日までに用意できないと、受験することができません。
(卒業論文や日本技術者教育認定機構(JABEE)認定プログラムの修了証書は不可)
- ・受験条件④または⑤のうち、各種「専門学校」を最終学歴とされる場合は、「専門学校」の「卒業証明書」などのほかに、その直前に卒業した「高等学校」の「卒業証明書」なども必要となります。2つの「卒業証明書」などを1つのファイルにしたうえで、アップロードしてください。

4. 特別級の受験について

特別級を受験する方は、次の内容を確認のうえ、申請してください。

(1) 筆記試験

① 筆記試験Ⅰ及び筆記試験Ⅱ

- ・筆記試験Ⅰは、1級に相当する内容です。
筆記試験Ⅱは、「材料・溶接性」、「設計」、「施工管理」(フレーム及びベッセル部門)、「溶接法・機器」の4分野から出題されます。
- ・筆記試験Ⅰは午前中に1級試験と同じ時間で、筆記試験Ⅱは午後に行います。
- ・1級溶接管理技術者の認証者は、筆記試験Ⅰが免除されるため、筆記試験Ⅱのみの受験となります。

② 筆記試験の単位制について

- ・特別級の筆記試験については、単位制です。
すべての単位を修得した後、口述試験を受ける必要があります。
- ・筆記試験Ⅰが1単位、筆記試験Ⅱが4分野の4単位、合計5単位となります。
- ・筆記試験Ⅰの合否判定基準は、1級と同一です。
筆記試験Ⅱの判定基準は、総得点と各問題の得点の両方が基準を満足することが必要です。
総得点が基準を満足しても各問題の得点が基準を満足しない場合には、合否は保留となり、基準に達しなかった問題を含む分野について再試験を受けることになります。
- ・再試験は、2年以内に2回まで認められます。
筆記試験Ⅰが不合格の場合も同様の扱いとなります。

③ 筆記試験Ⅰのみ合格の場合の1級認証

筆記試験Ⅱが不合格で、筆記試験Ⅰのみが合格の場合、事前に申請された場合に限り1級溶接管理技術者の認証を受けることができます。

この場合、1級対象の口述試験を受けていただくことになります。ただし、有効な1級研修会の修了証を保有している方は、口述試験が免除される場合があります。

(2) 口述試験

筆記試験に合格された方は、口述試験を受験しなければなりません。

口述試験不合格の場合、特別級の合否は保留とし、口述試験のみ再受験となります。